

# SARS-CoV-2 ワクチン接種における IgG 抗体定量検査について

## ワクチンから作られる抗体

ワクチンを接種することで、コロナウイルスが、人の細胞に感染するために必要なスパイクタンパク質をブロックする抗体が産生されます。

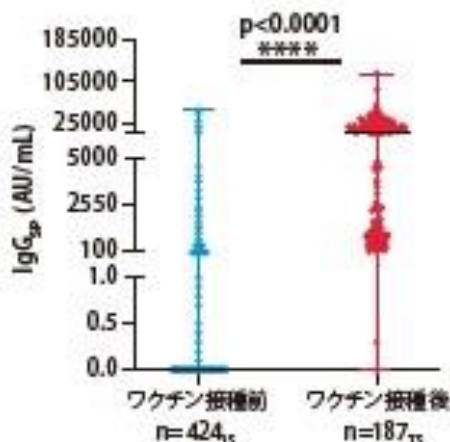


## IgG 抗体定量検査試薬

【試薬名】 ARCHITECT SARS-CoV-2 IgG II Quant (研究用試薬)

【製品概要】 ヒト血清および血漿中の SARS-CoV-2 の

**スパイクタンパク質に対する IgG 抗体**を定量的に測定する試薬です。

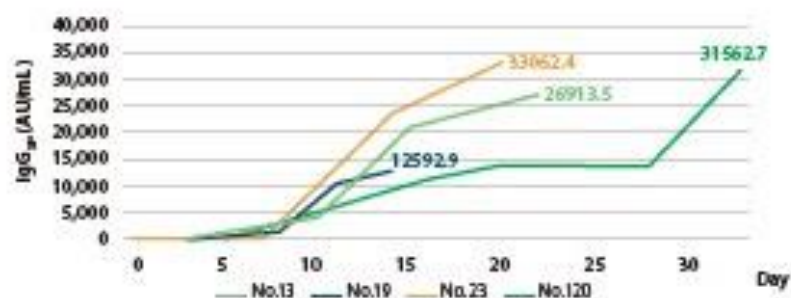


ワクチン接種の抗体の評価に用いる場合には、接種前と接種後（28日以降）での抗体測定により評価可能です。

ワクチン接種後（28日以降）の中央値は 6,396AU/mL と報告されております。

## 回復者血清における抗体価の推移

回復者血清にてIgG抗体の測定をしたところ、高力価の抗体価も定量的な算出が可能でした。



## プラーク減少中和試験 (PRNT) 高力価との比較データ

代表的な高力価として 1:250 希釈の PRNT ID50※を使用した確率プロファイルの例では 95%信頼区間で 4,160AU/mL でした。

※ウイルス量を 50% まで減少させることを確認する試験 ワクチンの効果判定で最も良く使われる指標。

SARS-CoV-2 IgG AU/mL	Probability of High Titer	95% CI
1150	0.80	0.65, 0.90
2300	0.90	0.73, 0.97
4160	0.95	0.78, 0.99
6250	0.99	0.87, 1.00

